

# 火災増加 リチウムイオン電池

## リチウムイオン電池からの火災にご注意！

### 【リチウムイオン電池とは】

リチウムイオン電池は、可燃性の電解液が使われていて、衝撃により破損・変形すると内部ショートして発熱、発火や破裂することがあります。

おもに、モバイルバッテリー、電子たばこ、コードレス掃除機、携帯電話など、小型で大量の電力を必要とする製品に使われています。

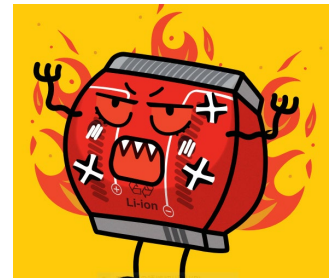
### 【火災事例】

- ① ごみ処理施設で、不燃ごみを解体・破砕作業中に発火
- ② リチウムイオン電池を、充電中に発火
- ③ 炎天下の車内で、モバイルバッテリー、携帯電話が発火

リチウムイオン電池などの小型充電式電池が原因と見られる火災事故は、全国的に増加し、ごみ収集車や処理施設で火災が急増しています。

#### ● ごみ処理施設におけるリチウムイオン電池火災件数

環境省調べ	2019 年度	2020 年度
全国火災発生件数	9,732	12,765



### 【火災を防ぐために】

- ① メーカー専用の充電器で充電しましょう。
- ② 膨張、異音、異臭など異常が生じた場合は使用をやめましょう。
- ③ 廃棄の際は、小型家電と乾電池の分別をお願いします。

### 【万が一発火した時には】

電池には近寄らず、火花が収まってから消火器や大量の水で消火するとともに119番通報してください。

